



**第 2739 回例会 No.31**  
 2025年(令和7年)4月25日(金) 晴  
 「手に手つないで」

### 出席報告

会員 62名中 49名 出席率 79.03%  
 Oゲスト  
 株式会社アップスチール 代表取締役 上原 一郎様

### 会長挨拶

会長 棚橋 顯さん



皆様こんにちは。能登半島地震と豪雨災害で二重に被災された輪島市町野町への物的支援として1月に布団乾燥機を寄贈しましたが、4月2日に現地を訪問して住民の方たちとの意見交換会をしてきました。すでに理事会では話をしていますし、先週のweeklyに創立60周年記念事業実行委員会の議事録が掲載されておりますので、寺本委員長の報告を読まれた方もいらっしゃると思いますが、私から写真を交えて最終的な支援後の検証報告をします。

### 【住民の方たちとの意見交換会の様子】



意見交換会は輪島市役所町野支所 2階のホールにて、町野復興プロジェクト委員会の山下委員長ら住民の方たち10名に参加していただき、私たちを含めて18名で開催いたしました。布団乾燥機を使っている方からは喜んでる感想を聞けましたが、使っていない方もいました。仮設住宅の造りが4畳半とキッチンと狭いことと、電気容量が30Aなので、IHコンロとエアコンなどと一緒を使うと容量オーバーになって電気が落ちてしまい、プレーカーがあるわけではないので、復旧するには電力会社に連絡しないといけないということが一番の要因でした。また、もったいないから使えないという方、仮設住宅を出たら使いたいという方、梅雨に入ったら使いたいと思っているという方など様々な実態を聞くことができました。

### 【町野町の今】



社会奉仕事業として物的支援をした後に、こういう形で話を聞く機会はこれまでなかった経験であり、私は町野町の方から届いた御礼のお手紙を紹介した時に「必要なものを迅速に届けて喜んでもらったことで奉仕の理想を実感する事業になったと思います」と発言しましたが、実際はそう簡単なものではないということを実感することになりました。町を歩くとまだ倒壊した家屋や、傾いた信号機や電柱

もそのままですし、あちこちで地面も隆起しています。ひどいのは田畑で、地震以上に水害がとどめを刺したと言われた住民の方の言葉の真意がよくわかりました。



これは4月16日の中日新聞夕刊に掲載された町野の鈴屋川沿いの桜並木の写真です。毎年の桜の開花に合わせて復興も着実に進んでいってほしいですね。



今回も金沢みなとロータリークラブの松井会長エレクトには往復5時間の運転手をしていただきましたし、前日の懇親会でも大変お世話になりました。次年度は地区の特別復興支援補助金を活用していきたいということです。今度は当クラブが援助する形で協力できればと考えます。松井さんが当クラブを訪問された際には皆様の大歓迎をよろしく願います。

先週の卓話の平和構築もそうですが、私たちは災害・紛争の起きている場所やそこにいる人たちのことを忘れずに思い続けていきたいと思います。

## ニコBOX

(沼野さん、地区研修協議会報告よろしく願います) 棚橋会長  
 ((株)アップスチールの上原さん、ようこそお越しいただきました。地区研修協議会報告を沼野次年度幹事よろしく願います) 中井幹事  
 (4月ゴルフ会で久々に優勝させていただきました) 梅田さん  
 (子供のいない夫婦の私達の唯一のおいっ子。セントラル病院で研修医として働きはじめました。注射の練習ご協力願います) 高田さん

本日合計	15,000円
累計	1,839,110円

## 委員会報告

「My Rotary へのアクセスと

ロータリー財団寄付のお願い」

ロータリー財団委員会委員長

猪子 恭秀さん



さる4月16日に、地区の吉川ガバナーと高山財団委員長から、ロータリー財団への寄付目標額達成に向けたお願いが届きました。当クラブの2024-25年度の年次基金寄付の寄付額が、地区目標額を636.76ドル下回っているとのことで、目標達成に向けて寄付推進へのご協力をお願いしたいとのことです。

My Rotary にアクセスしたことがない方は事務局に登録しているメールアドレスを使って登録することができます。

アクセスいただくと、「寄付者履歴レポート」にて、これまでの寄付総額や履歴をご確認いただけます。

また、ラーニングセンターなど、学びに役立つコンテンツもごございますので、会員の皆さまにおかれましては、ぜひMy Rotary にアクセスの上、ご自身の寄付状況をご確認ください。

## My Rotary> 会員・財団に関するレポート> 寄付者履歴レポート

今年度の当2760地区の会員一人あたりの寄付の目標額は、つぎのとおりです。

年次基金寄付	1人	\$ 150
ポリオプラス寄付	1人	\$ 30

現時点の寄付履歴をご確認いただき、年次基金寄付が150ドルに満たない方は、差額のご寄付をいただけますと、目標達成に向けて進みますのでよろしくお願いいたします。

ご寄付はMy Rotary を通じてご自身で手続きいただけるほか、事務局に「年次基金寄付を希望」とお申し出の上、寄付金をお渡しいただく形でも対応可能です。

今年度の年次基金寄付の推進にご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 同好会報告

「ゴルフコンペ後のパーティーについて」

ゴルフ会 会長 沼野 明さん

本日、今期最終のゴルフコンペの案内書を配布しました。コロナ禍以降、コンペ終了後のパーティーは控えておりましたが、「そろそろ再開してもよいのではないか」というお声を頂き、6月4日のナガシマカントリークラブのゴルフコンペ後にパーティーをやりたいと思います。ナガシマカントリークラブでは通常6組で回りますが、今回は8組取ってありますので、たくさんの方に出席いただけますので、ぜひみなさん、出席のほどよろしくお願いたします。

前回、6月4日夜に懇親会をやりたいという話もしていたのですが、懇親会は中止とし、その代わりにパーティーにしましたので、よろしくお願いたします。

三好カントリー倶楽部 コンペ 優勝 梅田 武久さん



## 幹事報告

中井 規博さん

本日は、上原さんようこそおいでいただきました。会員になられるのを楽しみにお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

### 【掲示物】

- ・「令和7年大船渡大規模山林火災被害(2520地区/岩手・宮城)」義捐金について (お礼とご報告)

### 【配布物】

- ・第12回理事会のご案内
- ・次年度クラブアッセンブリー懇親会のご案内
- ・次年度親睦活動委員会 キックオフミーティング・懇親会のご案内
- ・ナガシマカントリークラブ開催 ゴルフコンペのご案内
- ・三好カントリー倶楽部開催 ゴルフコンペ順位表
- ・My Rotary へのアクセスとロータリー財団寄付のお願い (委員会報告 猪子さん資料)

5月9日の例会変更で5月10日の土曜日にロータリーフードフェスティバルが開催されます。栄久屋大通公園のエンゼル広場とエディオン広場が会場となります。

受付は9:45、開始は10:00からです。イベントとしては各種ステージショーがございます。200円つ

ぶりのチケットを、お忘れのないようお持ちください。皆様のご参加をお待ちしております。

## 地区研修協議会報告

2025-2026年度 幹事 沼野 明さん



2025年4月20日(日)に名古屋マリオットアソシアホテルで行われました地区研修協議会について報告します。

ホストクラブは豊田三好ロータリークラブで、参加人数は1800名を超えるとのことでした。

私たち名古屋みなとロータリークラブからは24名の会員の皆様に参加していただきました。

2025-26年度国際ロータリー会長は、Santo Andre(ブラジル サンパウロ)所属会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏です。カマルゴ氏は、サン・ベルナルド・ド・カンポ法科大学で法学士号を取得し、ブラジルでグラフィック技術協会や印刷産業協会など、数多くの専門家団体を率いた経験を有しています。

また、1980年、23歳でロータリーに入会されロータリー財団プログラム委員会をはじめさまざまなロータリー委員会の委員を歴任され、ブラジルで4番目のRI会長として就任されました。カマルゴRI会長は、例年のRIテーマを掲げず、スピーチの中でメッセージとして「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取り合おう)と発信されました。そのスピーチの中で特に強調されているのは会員増強についてです。

## 会員増強について

「第一に、クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れること。第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がり地域社会にさらに多くの資源を投入できる。第三に、クラブは成長するか衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤を築くためには後継者育成計画が重要である。」と話されています。

そして、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことを使命として共に成長、奉仕、つながりの旅路を歩んでいきましょう。よいことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょうと結んでいます。

次に国際ロータリー第2760地区2025-26年度ガバナーは、蒲郡ロータリークラブ所属の鈴木康仁(すずきやすひと)氏です。

## 2025-26年度地区方針は

「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！」

～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって 絆を深め 奉仕の歯車を力強く廻そう～です。

## 活動方針

### ① クラブについて

四つのテストの心で互いに接し、絶えず変化する会員のニーズや期待に応え、会員が帰属意識をもって素晴らしいロータリー体験ができるようなクラブとしましょう。

また、クラブの健康チェックをおこない、行動計画の優先事項である4つ（インパクトをもたらす、基盤を広げる、かかわりを促す、適応する）に沿って戦略計画を立案しロータリークラブセントラルを活用して目標を記録しましょう。

### ② 新たな形態のクラブを創設しましょう

ロータリーの中核的価値を大切にDEIの行動規範をもとに、従来の形式にはとらわれない新たなクラブの設立を企画し広報してください。

ちなみに2760地区では衛星クラブが0とのこと。

### ③ ポリオプラスに貢献してください

10月24日は世界ポリオデーです。クラブ単位でも積極的に世界ポリオデーに参加してください。ポリオ根絶啓蒙とロータリー公共イメージ向上に努めましょう。

また2025-26年度の鈴木ガバナーは、ポリオ根絶に力を注ぐ一年にするため足掛け12年続けてきたWFF・RFF事業を「一年を通してのポリオ根絶運動」として地区方針の中に盛り込み多くの人に対して理解を深めて頂けるような啓蒙活動に転換します。そこで「TEAM SUZUKI」という委員会ではないポリオ根絶に特化した会議体の設置をいたしました。各クラブの皆さんと連携を図りながらこの課題に取り組んでまいります。

### ④ ロータリー財団が自分たちのものであることを忘れない

財団に寄付をしましょう。ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオプラスソサエティの参加者を増やしましょう。また財団に寄付したことのない方々の初めての寄付をお願いします。

### ⑤ 平和構築への貢献

未来を託す青少年の育成プログラム（青少年交換留学、RYLA、グローバル奨学生、ロータリー平和フェローシップ、米山記念奨学会）に積極的にかかわってください。平和を思う心を忘れず常に平和構築を心がけてください。

### ⑥ ローターアクトクラブとの連携

ローターアクトクラブが地域、世界でインパクトある奉仕活動が自立してできるようにかかわりを増やし、帰属意識をもって活動できるように支援を強化しましょう。

### ⑦ 愛知ロータリー学友会

2023年12月13日国際ロータリーから正式に認証を受けています。ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、青少年交換プログラム、RYLAセミナー、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生などロータリーのプログラムに参加したすべての方を学友としています。プログラム終了後もロータリーとの関わりを維持することで、公共イメージの向上、将来のロータリー会員へと支援していきましょう。

### ⑧ クラブ優秀賞、ガバナー特別賞の獲得を目指してください

### ⑨ ロータリーのブランドを大切にしてください

ブランドリソースセンターで使用方法を再確認してください。共通のシンボルで公共イメージの向上に努めましょう。

### ⑩ ラーニングセンターで自己学習を行いましょう

ロータリーの各種セミナーは研修から自ら学ぶ「ラーニング」に移行しています。各種セミナー出席前に該当のe-learningを終了しましょう。

### ⑪ 2026年6月13日～17日台北で開催の、ロータリー国際大会にこそって参加しましょう

以上が地区の活動方針です。

また豊川ロータリークラブの地区大会実行委員長より2025-26年度地区大会のご案内があり、大会1日目は11月8日（土）、会場は穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 大会2日目は11月9日（日）、会場は豊川市総合体育館です。多くの会員の方に参加して頂きますよう宜しくお願いいたします。

最後に当日参加していただきました、名古屋みなとロータリークラブの皆さんです。参加していただいた方、本当にありがとうございました。



月	日	今後の例会予定
5	2	休会
	9	例会変更 ロータリーフードフェスティバル 5/10・11 久屋大通公園 5/10(土) 受付 9:45～、 例会 10:00～
	16	港友例会 17F「コスモス」
	23	卓話 17F「コスモス」 名古屋掖済会病院加藤祐一郎副院長
6	30	休会
	6	第3回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	13	退任挨拶 17F「コスモス」
	20	休会
7	27	休会
	4	新年度方針発表 17F「コスモス」
	11	第1回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	18	港友例会 17F「コスモス」
	25	休会